

# 人間の知能を逆照射するAI 1980年代～90年代の哲学的反AI論

黒崎政男  
東京女子大学（哲学）

シンポジウム「人工知能の哲学2.0の構築に向けて」2019/03/23

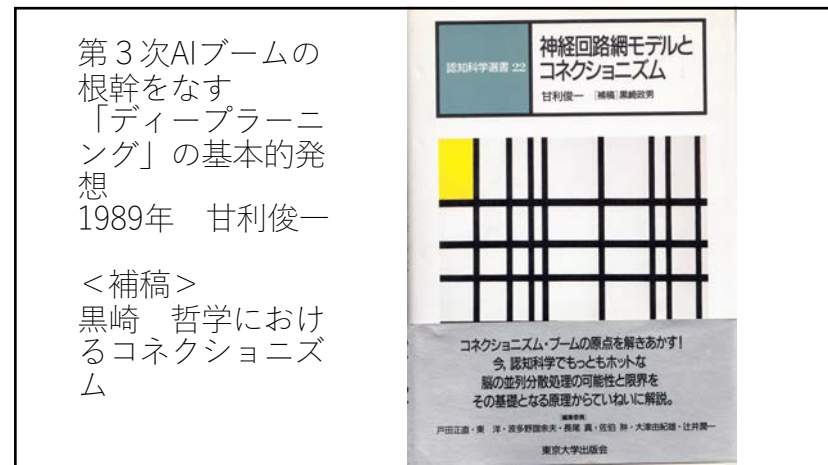
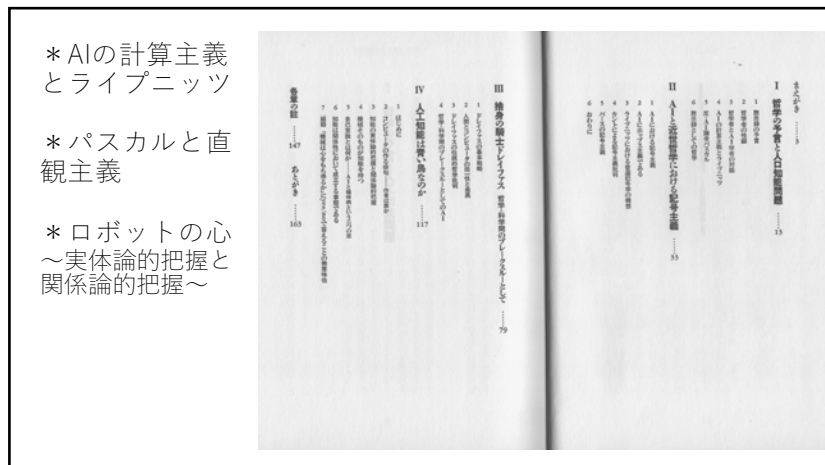
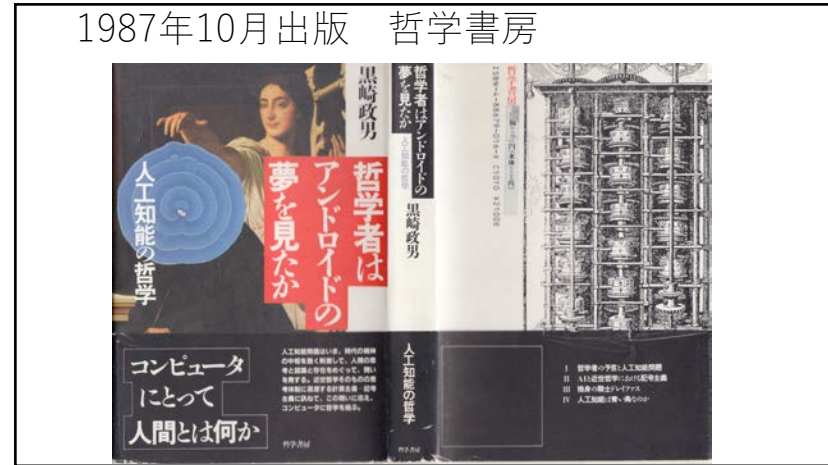
1987年4月号

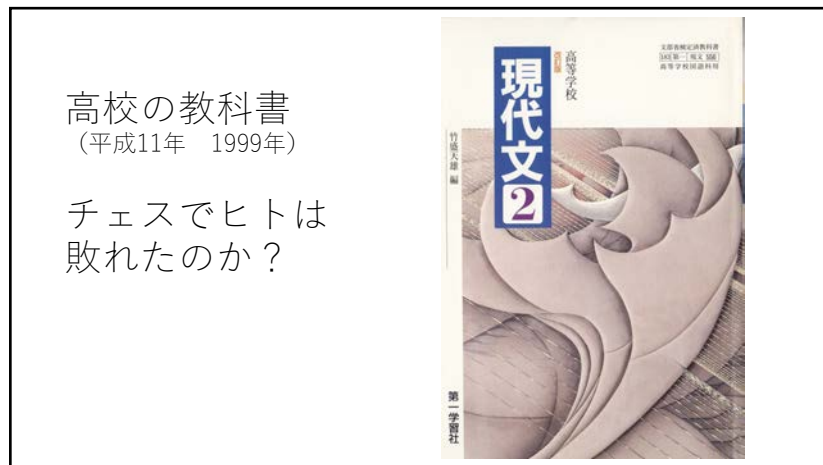
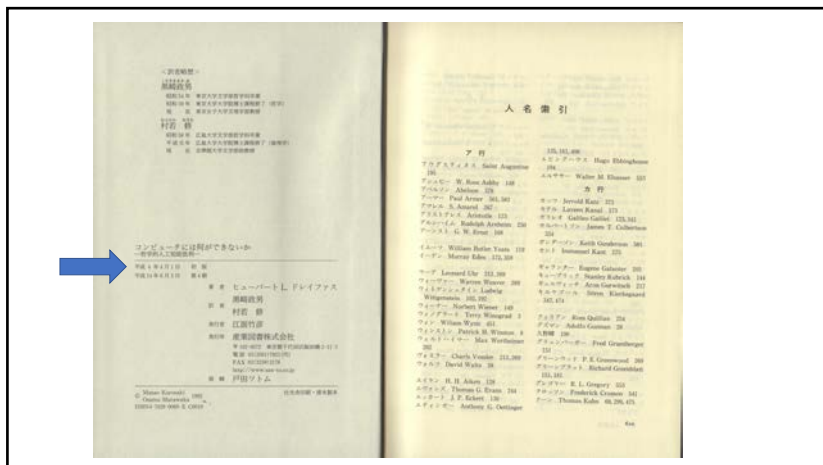
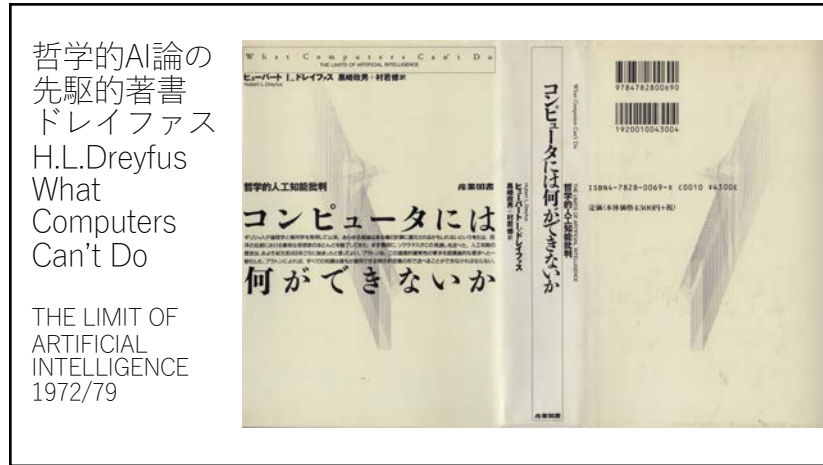
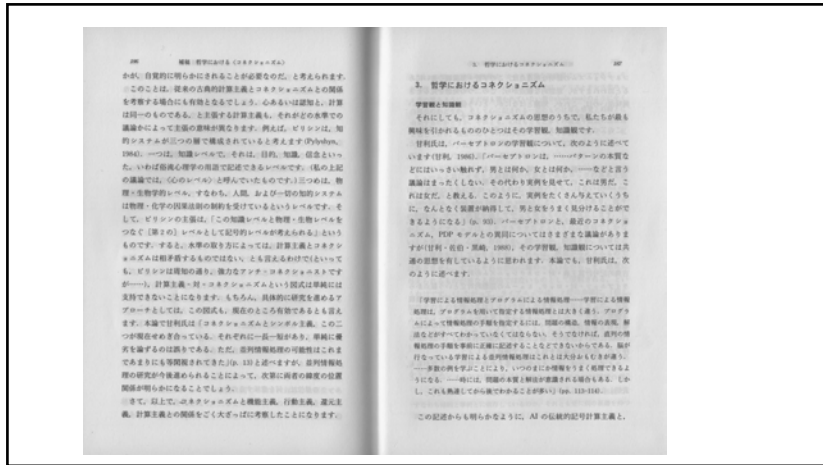
人工知能特集



象徴論のコンピュータ学	西垣通
一重螺旋機の生理について	伊藤隆石
SMALLTALK between A and TK	大和雅之
新しい知能の定義	坂村登
人間はどこまで機械か	黒片藤政志 中島秀裕 志之志己男弘
人間は考える	菅野次郎
コンピュータと知能	甲斐謙三
コグニティブ・ホイール	堀内弘一
現象学と認知科学	野家伸也
フッサール志向性・認知科学	野家伸也
哲学の予言と人工知能問題	黒崎政男
AIと哲学	村上隆一郎
人工知能に作曲は可能か？	近藤謙
AI情報理論批判序説	栗本慎一郎
心の社会性	大澤真幸
機械の知識と人間の意識	村田純一
特集—機械しかけの心—人工知能の現象学	



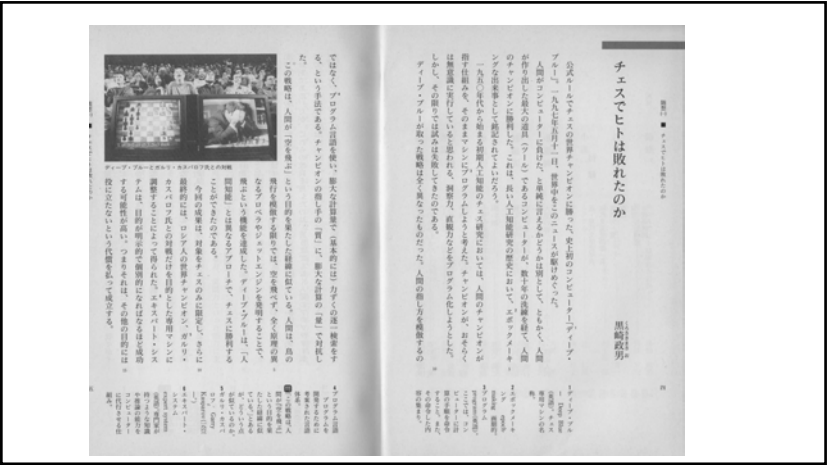




高校の教科書  
(平成11年 1999年)

チェスでヒトは  
敗れたのか？

題名	著者	出版社
小説	『小説』	角川
評論	『評論』	角川
小説	『小説』	角川
評論	『評論』	角川
小説	『小説』	角川
評論	『評論』	角川
小説	『小説』	角川
評論	『評論』	角川
小説	『小説』	角川
評論	『評論』	角川



## 2018年

# AIには何 ができるな いか

読者のみなさんへ

**2** **読者のみなさんへ**

読者のみなさんへ、3000年にわたる人類の歴史の中で、  
『読者』という言葉を初めて用いたのは、一人の天才  
である。それは、古くはギリシアの哲学者である。  
『読者』という言葉を初めて用いたのは、一人の天才  
である。それは、古くはギリシアの哲学者である。  
『読者』という言葉を初めて用いたのは、一人の天才  
である。それは、古くはギリシアの哲学者である。

**3** **読者のみなさんへ**

読者のみなさんへ、3000年にわたる人類の歴史の中で、  
『読者』という言葉を初めて用いたのは、一人の天才  
である。それは、古くはギリシアの哲学者である。  
『読者』という言葉を初めて用いたのは、一人の天才  
である。それは、古くはギリシアの哲学者である。

**4** **読者のみなさんへ**

読者のみなさんへ、3000年にわたる人類の歴史の中で、  
『読者』という言葉を初めて用いたのは、一人の天才  
である。それは、古くはギリシアの哲学者である。  
『読者』という言葉を初めて用いたのは、一人の天才  
である。それは、古くはギリシアの哲学者である。

### 今の人工知能は、意味を理解しない 「鉄人28号」である

何故か読者の人工知能の登場を予言していた哲学者たち。  
よやや私たちの元までたどり着いたものは、いまだ発展中である。